

マダガスカル トラベルインフォメーション

ビザ

日本人がマダガスカルに入国する場合はビザが必要。滞在可能期間は3カ月以内。ビザ取得の際は旅行会社発行の予約済証明書と写真、申請書が必要。また、パスポートの残存有効期限は6ヶ月以上必要。パスポートの査証欄余白は1ページ必要

言葉

公用語はマダガスカル語とフランス語。

通貨 カード

通貨はマダガスカルアリアリ(MGA) MGA1,000 = 約46円(2010年5月現在)。
マダガスカル空港到着時に空港や銀行で両替できる。また、大きなホテルや銀行では日本円からの両替も可能。
確実なのは米ドルや仏フラン(紙幣を用意した方がよい)。帰国時、再両替やMGAのままの持ち出しは禁止されている。
一番通用するのがユーロ、その次がアメリカドル、大きなホテルであればそのまま使える所もある。

税関

21才以上の一般観光客が持ち込める免税品は、紙巻きタバコ400本、酒類2本(2L)まで。
日本円100万円以上の現金、電気製品、貴金属などを持ち込む場合は申告が必要。

シーズン 気候 服装

一般的に、4月～10月が乾季。11月～3月が雨季。7～9月はヨーロッパから夏休みを利用した旅行者が多くやってくる。
気候的には、大きく6つの地域に分かれる。(1)東部(タマツブ近辺):亜赤道帯気候で高温多湿。強い貿易風のため一年中雨が多い。5月と9月～11月は比較的乾燥している。2～3月は台風の季節。(2)北西(ヌシベ近辺):ツアラタナ山脈の影響で東部の気候とほぼ同じだが、雨は東海岸よりも少なめ。(3)北部(ディエゴシュアレ近辺):高温で乾燥している。(4)高原(アンタナナリボ近辺):乾季がはっきりして涼しい。朝晩の冷え込みが厳しいためセーターやトレーナーを持って行った方がよい。(5)西部(ムルンダヴァ近辺):典型的な熱帯性気候。高温で乾燥している。(6)南西部(フルドローファン近辺):半砂漠地帯。
日中は紫外線防止のため、長袖と長ズボンが便利。森林を散策する際には、道が悪いところもあるので、底が滑りにくく、脚に負担がかからないスニーカー等が理想的。特に保護区では汚れても良い恰好で。

チップ

欧米ほど習慣にはなっていないが、快いサービスを受けた際に渡す人は多い。中級以上のレストラン、ホテルなどでは料金にサービス税として含まれていることがある。ホテルの枕銭はAr1,000～2,500程度、ポーターへはAr500～1,000程度、レストランでは満足度にもよるが10%程度が目安。

営業時間

ショッピング 月曜日～土曜日 08:00-12:00 14:00-18:00 *店によって若干異なる
銀行 月曜日～金曜日 08:00-11:00 14:00-16:30

交通手段

大型バスはなく、14～15人乗りのマイクロバスになる。この国に入ってくる車は、基本的に中古車で、カーステレオやエアコンの装備はほとんどない。道路はほとんど舗装されており、あまり揺れはないが、アップダウンや左右へのカーブが多いため、車に弱い人は酔い止め薬を持って行った方がよい。また、移動中にはカフェや土産物屋もほとんどないため、トイレは事前に済ませておいた方がよい。スーツケースは車の上に搭載する。

電気器具

電圧は110ボルト～220ボルト(50サイクル)。コンセントのプラグはBタイプ(二つ丸穴)。日本製はアダプターが必要。

飲料水

絶対に生水は飲まないこと。市販されているミネラルウォーターを飲用。歯磨きなどもミネラルウォーターを使うこと。

時差

グリニッチ標準時より3時間先、日本より6時間遅れ。(日本が正午12時の時、マダガスカルは朝6時)

治安

夜間の外出は控えること。

=注意事項=

1. 予防接種: 黄熱病汚染地区を経由しなければ不要。
2. マラリア: 心配な場合は必ず医師と相談の上、予防薬を服用して下さい(副作用がある場合があります)。

予防策として、虫除けスプレーや蚊取り線香などを持って行くといい。